

Special Thanks

2024年4月～2025年3月に38,841,198円のご寄附をいただきました。皆さまの温かいお気持ちは、現場のスタッフの大きな励みになっています。ありがとうございます。

個人

大西 範子 様
山縣 哲夫 様
牛島 亜矢子 様
鎌滝 泉 様
安西 英子 様
安西 優子 様
林 康夫 様
白石 雅士 様
竹之内 由美子 様

当院では現在、光熱費や物価高騰、人件費の増加などにより、経営状況が大変厳しくなっています。皆様からのご寄附を心よりお願い申し上げます。



税制優遇措置があります



message

5月26日から予約変更などの申し込みが24時間いつでも可能に！

当院では、予約変更に関する利便性向上のため、5月26日から予約関連のご連絡に限ってWeb申込・電話自動応答システムを導入します。これまで診療時間内に限られていた申し込みが、24時間いつでもご都合の良い時間にできるようになります。

COVER 今号の表紙

視能訓練士は「見る」を支える専門家

眼科では、視力検査、視野検査、白内障手術のための検査、眼鏡の度数を決める検査などさまざまな検査を行っていますが、それらの検査全般を、眼科医の指示のもと、担当しているのが、視能訓練士です。当院では8人が活躍しています。

0歳からご高齢の方まで患者さんの年齢層は幅広く、「常に患者さんの不安に寄り添い、丁寧でわかりやすい検査を心がけています」と話します。例えば、小さなお子さんの斜視・弱視の検査や訓練では、怖がらないよう、飽きさせないよう、検査スペースにはさまざまな工夫をしています。正確な検査データは、医師の診断と治療方針を左右しますので、医師にとっても大切な仲間であり、患者さんにとってなくてはならない存在です。



優れた視能訓練士の存在は良い眼科の証とも言えます。

[発行] 千葉大学医学部附属病院

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL: 043-222-7171 (代表) Mail: byoin-koho@chiba-u.jp



千葉大学病院ホームページ
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/>
※バックナンバーをご覧いただけます



CARBON ZERO PRINT
www.joyasha-inc.co.jp
この印刷は、SCOPE1
とSCOPE2の温室効果
ガスをゼロにした工場で
印刷しています。

千葉大学病院 公式Instagram フォロワー数が日々増加中！

当院の医師が「子どもの病気」「PMS」「紫外線対策」など病気や健康に役立つ情報などを写真や動画でわかりやすくお伝えしています。ぜひフォローしてください！

#千葉大学病院 #インスタグラム #医療情報 #健康 #病院紹介



Instagramは
左のQRコードから
アクセスできます！

いのはなハーモニー

Harmony



74

2025.MAY.

特集 患者支援部のサポートとは？ / CLOSE UP 腎臓のおはなし



視能訓練士（詳細は裏表紙へ）

患者支援部のサポートとは？

院内で、地域で、
顔の見える関係づくりを
中山 義崇 部長（特任教授）

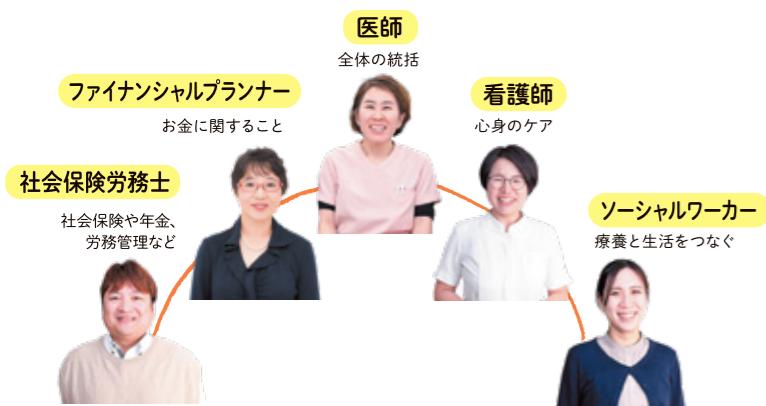


患者支援部では、患者さんの受け入れから退院後の転院先などの調整業務を行っています。医療は、一つの病院だけで完結しているわけではありません。救急医療と難病支援、がん医療や移行期医療など、大学病院に期待される役割を果たすためには、地域の医療機関や関係機関との連携が不可欠であり、院内からも地域からも「顔の見える関係」であることが重要です。私自身、他の病院に勤務していましたので、その経験を生かして、地域で困っていること、現場の声をよく聴いて、地域医療の課題解決につなげていきたいと考えています。

写真撮影後に月2回のカンファレンスを全員参加で実施



入院患者さんの不安に応えるスペシャリストがいます



治療以外のこと、お気軽にご相談ください

患者さんが安心して治療に専念できるよう、患者さんやご家族の意向を踏まえた治療や療養の選択、退院してからのことなど治療以外のことも含めて入院前から切れ目のない支援を行っています。各病棟に看護師とソーシャルワーカーを配置しているほか、必要に応じてファイナンシャルプランナー、社会保険労務士による専門的な支援も行っています。

お金のサポート相談会 無料

当院では、毎月第1・3水曜日（13時～16時）に患者支援センターで日本FP協会による無料相談会を開催しています。ご希望の際は同センター窓口もしくは代表電話（043-222-7171）で予約をしてください。

① 救急医療の体制を整備しています

救急車の受け入れと、治療後の転院を CHIBA e-link（ちばイーリンク）でスムーズに！

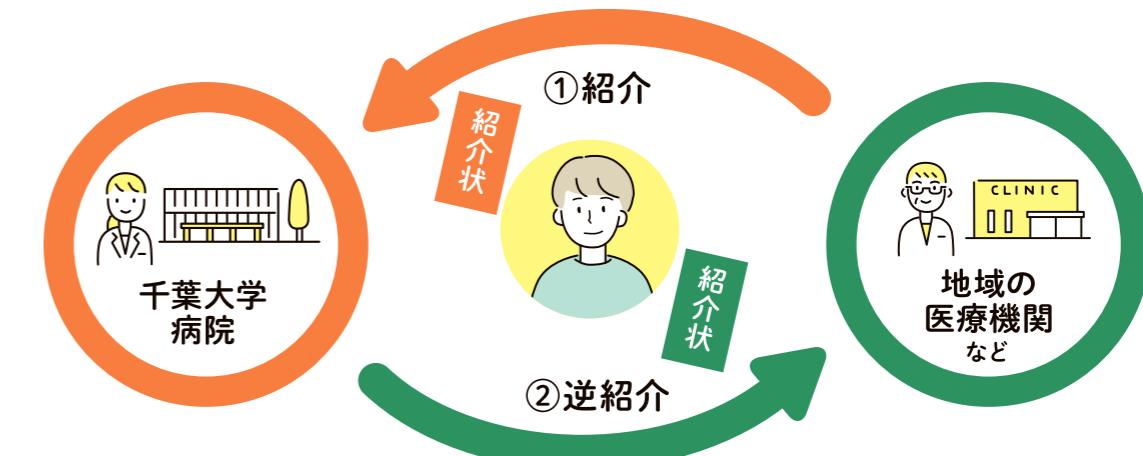
救急車の搬送で最も大切なことは「どこに」を「早く」決めることです。千葉市・千葉県では、「Smart119」というICTを活用した救急医療支援システムを導入し、救急隊がタブレットで患者さんの状態を入力すると、リアルタイムで各病院に伝わり、対応可能な病院がすぐに見つかる体制を整えています。

ただし、大学病院には次々と重篤な患者さんが運ばれてきますので、治療を終えた患者さんには、他の施設にお移りいただく必要があります。そこで、千葉市近隣の救急病院、救急病院から患者さんを多数受け入れている病院とともに千葉大学病院救急病院連携コンソーシアム「CHIBA e-link」という組織を2022年9月に設置しました。これにより、救急搬送の受け入れだけでなく、転院もスムーズに地域の病院と連携できる体制を整えています。



「Smart119」は当院救急科の中田孝明科長（教授）がCEOを務める千葉大学発のスタートアップ企業が開発し、全国各地で活用されています。

地域の中で役割分担して連携しながら患者さんを診ています



② 退院後の転院・療養先を逆紹介しています

逆紹介する施設は、患者さんと相談して決定します

- 当院での治療を引き継ぐ場合は「急性期」の医療機関へ
- リハビリテーションが必要な方は「回復期」の医療機関へ
- 介護が必要な方は、入居・入所できる「介護施設」へ
- 療養が長期にわたる場合は、「慢性期」の療養先へなど

患者さんに適した施設を選びます



- 患者さんが希望するかかりつけ医や施設などを教えてください。
- その際、当院の「提携医療機関」もご参考ください。病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所など75施設と提携しています（2025年3月）。
- このほか、医療機関・薬局の公的検索システム「医療情報ネット（ナビイ）」をご活用ください。

腎臓には、「尿をつくる」「貧血を予防する」「血圧を調整する」「骨を丈夫にする」の4つの働きがあります。血液や老廃物の循環を整える重要な機能がありますが、恒常に機能が低下してしまう病気を慢性腎臓病といいます。いったん機能が落ちると回復しないため、早期発見がカギ。気になる症状があったら早めに検査をしましょう!当院はかかりつけ医と連携する「2人主治医制」により、腎生検から腎移植までトータルで治療を行っています。

新たな治療薬に期待

慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease、以下CKD)の治療を継続的に受けている総患者数は66万6,000人に上ります。CKDは蛋白尿や血尿が出るなど腎臓の働きが低下した状態のことと、生活習慣の改善や早期治療で透析療法を回避したり、遅らせたりすることができます。治療薬はこれまで腎炎に対して使うステロイドや免疫抑制剤だけでしたが、近年、CKDに対してRAS阻害薬(血圧の薬)やSGLT2阻害薬(尿中への糖排泄を増やして血糖値を改善させる糖尿病の薬)が使用できることになり、今後の治療に期待が高まっているところです。

腎臓内科 科長
淺沼克彦 教授

腎生検で早期発見



健康診断などで尿検査に問題があった際に、腎臓の組織を採取して顕微鏡で詳しく調べる「腎生検」を行います。腎臓病の種類や状態、進行度合いを正確に診断し、最適な治療方針を決めるために必要な検査です。

血液や老廃物の循環 を整える大切な臓器 腎臓のおはなし

CLOSE
-UP



腎臓は
腰の辺りで左右に2つ。
握りこぶしサイズです。



塩分過多や食べすぎに注意!
受診は、まずかかりつけ医へ!

透析と腎移植



CKDが進行した場合、血液透析や腹膜透析など、体内の老廃物と水分を人工的に除く「透析」や、他の健康な腎臓のうち1つを移植する「腎移植」があります。食道・胃腸外科では2024年に生体腎移植20件、献腎移植1件を行いました。

動画で学ぶ腎臓病教室



CKDの進行をできるだけ抑えるため、腎臓病を理解し、より良い生活を送るために『腎臓病教室』を開催しています。医師・看護師・栄養士が協同して、動画を活用し、患者さん一人ひとりに合わせた個別指導や、みんなで学べる集団指導を行っています。

いくつ当てはまる?/ ✓ 慢性腎臓病 チェックリスト

当てはまる項目が多い人は、かかりつけ医に相談しましょう

- 高血圧である
- 肥満である
- 尿の回数が増えた
- 尿が泡立つ
- むくみや立ち眩みがある
- 疲れやすい

千葉県CKD対策協力医リスト

千葉県は、全国に先駆けて腎臓病対策を進めています。CKD対策協力医256名のリストが千葉県のホームページで公開されています。



千葉県ホームページ

かかりつけ医の皆さんへ

蛋白尿の検査で「±」「+」の表示がある場合、蛋白尿に尿潜血を伴う場合は、当院にご相談ください。



医師からのメッセージ



腎臓病の診療は透析など長く続きますので、私たち医師も、患者さんを一生責任をもって診ることができます。非常にやりがいを感じています。透析のために外科的な手術と全身管理も行い、総合内科医としての素養も求められ、研鑽の日々です。

なんでもQ&A

「イヤホン難聴」

スマホでゲームや音楽を楽しむ人が若い世代を中心に増える中、大音量で長時間のイヤホン使用による難聴リスクをWHOが指摘しています。

— イヤホン難聴はどんな病気ですか？

正式には音響外傷(音響性難聴)といい、イヤホンやヘッドホンで大きな音を継続的に聞くことで耳の機能が劣化し、聞こえにくくなる病気です。徐々に進行するため、気づかずに入りリスクを抱えている方が多いといわれています。普段からイヤホンを使用していて徐々に難聴になった場合は、残念ながら、治すことは難しいです。ですから、予防がとても重要になってきます。



— イヤホン難聴は回復しないんですね。では、予防策はありますか？

一番は大音量で長時間使用しないことです。WHO(世界保健機関)が示している指針では「音量を大きくしそうない(会話が聞こえる程度に)」「長時間使用しない(1日1時間未満)」とされています。周りに音が漏れる音量はかなり大きいといえます。周囲の雑音を抑えるノイズキャンセリング機能がついたイヤホンを使うことで、より小さい音量で音楽などを楽しむことができます。

Q.
咳エチケットで間違っているのは？

咳やくしゃみをするとき、
① 手でおさえる
② 上着の内側や袖で覆う
③ マスクを着用する

答えは①です。「咳エチケット」とは、飛沫によって感染する感染症を他人にうつさないために、咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえることです。咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触った周囲のものにウイルスが付着し、それを触った他の人が病気になる可能性があるので、正しい咳エチケットとはいえないません。



当院ではマスク着用が個人の判断になりましたが、「咳エチケット」については引き続きのご協力をお願いいたします。



01



重症患者をヘリに搬送する救急科の医師や看護師

消防防災ヘリで重症患者の搬送を想定した合同訓練を実施

1月20日、千葉市消防局航空課によるヘリ搭乗に関する安全講習の後、ECMO管理下にある患者のヘリ搬送を想定した合同訓練を行いました。実際の機体を使用し、患者の搬入・離陸・着陸・搬出までの一連の流れを確認しました。当院では今後も、万が一の災害や事故に備えて、定期的に訓練を実施してまいります。

03



外来診療棟ロビーでの撮影風景です！

ドラマ「まどか26歳、研修医やってます！」に撮影協力しました！

今年1月～3月に放送された芳根京子さん主演のドラマに当院が撮影協力しました。研修医が医師としての成長を遂げる過程を描いたもので、当院でも初期研修医77名が、患者さんの診療を行っています。必ず指導医のもとで行いますので、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

05

2020年来の感染症対策が大きく変わり、病院内でのマスク着用は個人の判断になりました

病院内でのマスク着用は、感染状況が落ち着いていることから、5月12日から個人の判断となりました。患者さんやご家族、当院の医療従事者も含め、院内では状況に応じた柔軟な対応をお願いしています。ただし、咳、くしゃみ、鼻水などがある際の「咳エチケット」の周知を徹底し、場合によっては、職員がマスク着用をお願いすることがあります。なお、感染症が流行した際は、直ちに「院内ではマスク着用」の方針に切り替えます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

02



ガウンの着脱方法を真剣に学ぶ新採用の職員たち

新採用の医師・看護師らが病院職員としての心構えを学びました

4月1日、新採用職員を対象としたガイダンスとして、IPW(専門職連携実践)や接遇、メンタルヘルスなど多岐にわたる研修を行いました。感染対策の研修では、実際にビニールガウンや手袋、フェイスシールドなどの着脱方法を演習し、ウイルスや細菌などの病原体から自身や患者さんを守るための方法を学びました。

04



5期生10名(うち当院所属4名)を含む研修生たち

今年度も新たに特定看護師5期生が誕生しました！

3月6日、看護師特定行為研修の修了式を行い、特定看護師の5期生が誕生しました。特定看護師は、医師が作成した手順書に示された病状の範囲内で、医師の判断を待たずに診療補助ができます。研修生代表は、「研修で培った知識や経験を活かし、チームの一員として実践していきます」と語りました。



感染制御部の千葉均看護師長(左)と猪狩英俊部長